

(令和6年9月11日 午後1時41分 開始)

○議員（米田 正直議員） 皆さん、どうも御苦労さまでございます。

町政運営方針について質問をさせていただきます。

まずは、宮崎町長におかれましては、8月の選挙戦を勝ち抜かれたことをお喜びを申し上げます。また、前町長の東様におかれましては、療養むなしく旅立たれました。私ごとではありますが、東前町長にはもろもろ協力をいただきました。町政方針の意見の食い違いで政敵の形になりましたが、それを除けば親しい友人でもありました。仲直りできないまま、あちらの世界へ旅立たれたことは大変残念でなりません。忠心より哀悼の意をささげます。

先日、初めての議会ということで町政運営方針を述べられましたが、歴代の町長も宮崎町長と同様に、町民の幸せで安心して暮らせる町、川南町に生まれてよかった町を実現するためにを基本として町政を進めてまいられました。時代の変遷とともに町政の中身も変わってきています。時代に即した町民の声、要求も上がってきます。町民との対話を重視されることも大きな公約として掲げられたことは、宮崎町長の中心柱となることを期待します。

公約の多くある中で、町政運営方針では4つの件について発表していただきました。1つ、人口減少、少子高齢化について、2つ、町内産業の推進、成長について、3、防災減災対策について、4、次代を担う人づくり、人材育成、教育の充実についてであります。今回は、このうち3点に絞って、ごく簡潔に質問をさせていただきます。

最初に、町内産業の推進、成長についてであります。地域内資金循環を推進し、資金流出を極力減らし、外貨の獲得に努力する。そのために農林水産業、商工業、観光業の各団体とのトップ会議、若い世代を中心に川南町経済推進会議（仮称）を設置するとありますが、どのようなものか説明をお願いします。

後の質問は質問席から行います。

○町長（宮崎 吉敏君） 米田議員の質問にお答えします。

私が掲げた川南町経済推進会議は、川南町の将来のあるべき姿、目標、目指すものなどを協議し、私たちの視点、これは私だけかもしれませんが、考えの違う斬新なアイデアを求めたいと思っています。各グループ、各団体から中堅を担っている方々を選出していただき、会議を構成したいと考えています。

また、それぞれが感じている問題点を共有することで有効な手だてがないか、判断してまいります。

以上です。

○議員（米田 正直議員） 将来の川南町を担うあるべき姿を検討していきたい、その

ためには斬新なアイデアを各関係からいただいて進めていくというようなことだと思います。分かりました。

我が町の基幹産業である農業をはじめ商工業、水産業の実態は大変厳しいものがあります。川南町一自治体の問題ではありませんが、町長はどのように受け止め、今後の川南町の経済政策をどのように推進されようとしているのかお伺いをいたします。

○町長（宮崎 吉敏君） 米田議員の質問にお答えします。

各団体、また町民の皆様、各企業、全ての皆さんからの対話を重視して進めてまいりたいというふうに考えております。各団体とのトップ会議を設置し、この中で協議を進め、優先順位を詰めて施策を進めていきたいというふうに考えております。

以上です。

○議員（米田 正直議員） 各関係団体のトップ、関係者を集めて、いろいろな問題を出し合って、川南町の経済を推進していこうとされておるというふうに理解するわけですが、ひとつお願いをしたいというふうに思っております。

次に行きます。8月に日向灘を震源とする震度6弱という地震が発生し、それ以来、小さな地震が27回ほど観測されています。正月元旦に発生した能登半島地震が未回復の状態でこのような災害が起きています。台風10号も日本列島をゆっくり進み、各地に被害をもたらしています。

いつ起こるか分からない災害の列島である日本は、地域地域に応じた防災計画策定をしていかなければなりません。宮崎町長も早速、災害対策本部を設置しなければならない貴重な体験をされました。その際、避難所の開設に当たって課題が見えてきたということですが、どのような課題が見えてきたのか、また、自主防災組織の設置の必要性和自治公民館との連携を言われています。具体的な案があれば、御教示賜りたいと思います。

○町長（宮崎 吉敏君） 米田議員の質問にお答えします。

災害対策本部を設置して見えてきた課題、基本的には、対策室が掲げている災害に対する対策等については、ほとんどと言っていいぐらい問題はありませんでした。

ただ、避難所については、今回改善センターを開設し、開所いたしました。そのときに施設の雨漏れ等が発生していました。このことについては担当課と協議の上、しっかりと対策を進めていきたいと思います。

また、対策本部を設置する前に、全課長会との意見交換会を開催いたしました。その中から出てきた避難所について、基本的には改善センター、それから総合福祉センター、そして自治公民館の施設ということになりますが、過去に自治公民館で避難等があったときに、窓ガラス等が割れてけが人が出たという過去の反省の言葉もありました。しっかりと各施設の点検を行い、窓ガラス等の割れに対しては、雨どい、シャッター等の設備が必要であるとも考えています。このことについても、しっかりと担当課と協議し、早急に進めてまいりたいと思います。

以上です。

○議員（米田 正直議員） 避難所においては雨漏りとかそういったものがあつたというようなこと、課題と言われるほどではないということで受け止めたわけですけど、危機管理室が防災計画の中のそういった課題ではないということで、とにかく避難所、改善センターを今回設置されて見えたものとしては雨漏りが発生したことのようにございます。

それから、ほかの自治公民館等においても、いろいろ問題があつたと、過去にということでございますが、これは避難だけでなく日常的に使う施設でもありますので、早めのそういった雨漏り等は修繕する必要があるんじゃないかと思います。特に避難所開設の場所に当たっては早めということで、ひとつお願いしたいというふうに思います。

それから、防災組織がうたわれておるわけでございますけれども、防災組織の単位をどのように考えておられるのかお伺いをいたします。

○町長（宮崎 吉敏君） 米田議員の質問にお答えします。

自主防災組織については、現在、川南町内で3組織が設立されております。ただ、今後、想定を超えるような災害等が起きたときには、しっかりと各地域ごとに自主防災組織を編成する必要があると考えています。このことについては各自治公民館との話合いの中で、しっかりと自主防災組織の編成等について話合いをさせていただきたいと思います。

また、先ほど児玉議員が通浜の地域のことでおっしゃいましたけど、高台にあるよその地域では、防災ということに対して意識の醸成がまだできていません。川南町総務課防災室に対策監が赴任しておりますので、しっかりと町民の皆様に防災に対する意識、それから対応等について各地域で講話をするようにしていきたいというふうに思っております。

自主防災組織については、皆様の思いを醸成するということに対しては非常に有効な手だてだと思っておりますので、進めてまいりたいと思います。

以上です。

○議員（米田 正直議員） 防災組織の単位ということでもお伺いしたわけですが、現在3組織あるということです。

防災組織において、災害についての意識の醸成を図るというようなことでございますが、この防災組織の単位、自治公民館を中心として話し合っていくということだろうと思いますけれども、大きい公民館っちゃおかしいんですけど、自治公民館となると、ちょっと単位が広過ぎるというふうに思うんですね。例えば、中央自治公民館であれば、昔の1分館から4分館あるわけですけども、津波関係でいけば、津波避難等の対象としては2分館、松原地域が入ってくるわけでございますけれども、そういったことを考えたとき、自治公民館単位でやったときに、果たしてそれが機能するのかどうかといったこともちょっといろいろ考えられるわけでございますけれども、これは今後、自治公

民館を中心として防災関係について話合いがされるというふうに思いますので、それを期待したいというふうに思います。

次に、自治公民館、今、出ましたけれども、自治公民館組織との連携はすばらしいことだというふうに思いますが、地域振興班と自治公民館との関係の現状を町長はどのように把握されているか、お伺いしたいというふうに思います。

○町長（宮崎 吉敏君） 米田議員の質問にお答えしたいと思います。

自治公民館と振興班のということの質問をいただきました。私が、選挙期間、各地域を回らせていただいて、非常に振興班の活動が活発なところ、そしてだんだん衰退していつているところ、非常に振興班の存続ということに関しては危機感を持って捉えています。

また、自治公民館の事業の中に、振興班の加入促進を図るという文言も入っております。ぜひ、振興班の加入については地域の人たちの力、また、行政のほうからも告知等を通じて、皆さんに啓蒙活動していかなくちゃいけないのかなと思います。

ただ、非常に聞こえてきた振興班の危機は、あるところは、先ほど言いました活発になっている。でも、もう振興班を、組織を解体しようかというところまで来ているところもありました。つまり、振興班に入っているのメリット、また、デメリット等がうまくつながらない、振興班に入っていないなくても問題はないんじゃないかなと捉える方々もいらっしゃいます。

そういう中では、先ほどの防災に関しては、地域がみんなで力を合わせて支援していくというのが防災の基本だと考えておりますので、振興班に対する支援と、また防災についても必要性を訴えていき、振興班の活動につなげていけたらなと思っております。

以上です。

○議員（米田 正直議員） 自治公民館と振興班との連携をうまく取りながら、防災関係につきましては防災機能の醸成とか、そういった関係について浸透するようにお願いをしていきたいと、我々もしていかななくちゃいかんというふうには思っております。

それから、危機管理室も令和6年度に設置され、専門職も配置をされました。その部署を中心として防災計画の実施がされていると思いますけれども、その実施推進状況、概要を説明していただくとありがたいというふうに思います。

○総務課長（小嶋 哲也君） ただいまの御質問にお答えします。

危機管理対策室が設置され、その進捗状況はということですが、災害対策監が4月11日に着任されて、現在、その専門性を遺憾なく発揮され、現在の職務に取り組んでいただいております。

まず、取り組んでいただいているのが、1つ目に、先ほどから述べております自主防災組織の結成についてであります。自治公民館を中心に推進を現在行っているところであります。

そして、2つ目に防災士の在り方についてであります。現在、町内に67名の防災士が

います。この方々に積極的に関与していただける場を構築することが自主防災組織の結成だと考えております。防災訓練を実施して、防災士の方々が中心となって活動していただき、町民の防災意識を向上、高めていくことができれば、さらに川南町地域防災計画が生きてくるのではないかというふうに考えております。

以上です。

○議員（米田 正直議員） 自主防災組織の結成について進めておると、それから防災訓練をやる中で、要するに防災士の在り方、防災士の育成というか、そういったものを進めておるということで理解したいと思います。

各地区の防災基盤の確立、防災活動の活性化、地域の連帯意識の醸成により、町民の生命、身体、財産を守るために最優先に取り組むとありますが、今、総務課長から説明がありましたように、ぜひ実現できるようにお願いをしたいというふうに思います。

次に、次代を担う人づくり、人材育成、教育の充実についてであります。若者連絡協議会等、将来の川南町を担う人たちのグループの活動成果発表会の実施により、幅広い世代と考え方の共有や、諸分野で活躍をされた方の講演を小中学生や若者を対象にさせていただくことで人材育成を図っていくということで、毎年、定期的にそのような場を設けるということですが、具体的な案があれば御教示いただきたいと思います。

○町長（宮崎 吉敏君） 米田議員の質問にお答えします。

具体的なということですが、私が考えている様々な分野で活躍なさった方を川南町にお招きして、人生の気づきであったり、将来の目標であったりということを感じていただければなということで、こういった定期的に開催するということを掲げさせていただきました。今現在では、まだそのアクションを起こしておりませんので、来年度に対してしっかりと対応してまいりたいと思います。

このことは、一つは、先ほど若者連絡協議会ということもありました。非常に今、若者連絡協議会が、自分たちの組織をどう活用するのか、どうしたらいいのかという1つの壁にぶち当たっているんじゃないかなという気がしております。若者連絡協議会については、知識の研さん、学びが最大の目的であると捉えています。そういった研修の場を提供することによって、若者連絡協議会がしっかりと機能する、そういった場をつくっていきたいと思っています。

また、本来であれば、若者連絡協議会と議論を重ねなくちゃいけないんですが、私の思いとすれば、それぞれの若者連絡協議会も、各グループが自分たちの目標、目的を定めて、しっかりと活動をなさっていると認識しております。このことに対して、研修の場を提供して、もっと高い学びの場を提供していきたいというふうに考えています。

以上です。

○議員（米田 正直議員） 研修の場、学びの場ということでございますが、以前、分館制度があった頃は成人講座や婦人学級等が各分館単位で実施をされていまして。その時代に即した課題等、情報を共有したものです。

現在は、おのおのがスマホ等の情報機器を持って、それなりの情報を得ていますが、地域の人たちが集い、課題解決のための情報の共有や生きがいづくり等、コミュニティ形成、連帯意識の醸成を図るために、以前のような体制はできないかお伺いをいたします。教育委員会部局に関係する部分ですが、人材育成という観点からお伺いをいたします。

○町長（宮崎 吉敏君） 過去に様々な地域で、様々な活動をなさってきたということに対しては尊重したいと思っています。できることなら、自治公民館等がそれに値するのではないかなという気がしております。このことについては、担当課等も含めて、しっかりと協議して検討してまいりたいと思います。

以上です。

○議員（米田 正直議員） 自治公民館活動の中で、また見直しや検討していくということで、ひとつお願いをしたいと思います。

なぜこういう人材育成等を図るのか、要するにどのような人間像を町長は期待されるのか、お伺いをいたします。

○町長（宮崎 吉敏君） 米田議員の質問にお答えします。

私が掲げる、どういった人間像を求めるかということに対しては、町民一人一人、若者連絡協議会も含めて、自主的に自ら行動を起こす。そして、みんなと問題意識を共有して、さらに前に進む。こういった積極的な人間構成というのを求めています。その場合には、しっかりとそういった場を与えるということが大事だと思っていますので、進めてまいりたいと思います。

以上です。

○議員（米田 正直議員） J A組織の中では、各生産部会においていろんな研さんを積まれているということでございます。また、婦人部のほうでは活動発表等、県大会レベルで発表会があつておるようでございます。

町長は、若者連絡協議会等のグループの活動成果発表会ということでございますが、どのようなグループを想定されているのかお伺いいたします。

○町長（宮崎 吉敏君） 米田議員の質問にお答えします。

それぞれのグループは、しっかりと自分たちの目標を定めて行動していると思っています。

ただ、そういった発表の場があるということは、各団体、皆さんがそれぞれの活動を理解し、また、改めて自分たちの目標設定にも生かされる、全てが若者連絡協議会の運営に生かされると思っています。人前で自分たちがやってきたことを発表すると。これについては、そういった機会を設けるということに対しては、非常に当事者の方々も自主的に研さんを積み、そして、しっかりと目標設定から実行までの成果を発表する、このことが活性化につながるとと思っています。

以上です。

○議員（米田 正直議員） どのようなグループかということでございますけど、若者連絡協議会を含め、例えば文化連盟、もしくは婦人団体連絡協議会とか各団体がありますが、そういったのを指すということで理解してよろしいかお伺いいたします。

○町長（宮崎 吉敏君） 米田議員の質問にお答えします。

まず、若者連絡協議会、ここは、先ほど言った知識の向上、研さん、研修が大事だと思っておりますので、まず、若者連絡協議会の成果発表大会を開催したいと思っております。

また、そのことで、波及的にほかの団体もそういった場を設けたいということであれば、そのことについては検討していきたいと思います。

以上です。

○議員（米田 正直議員） 発表会については、当分の間は若者連絡協議会を中心とした発表会ということで捉えてよろしいですかね。はい、分かりました。

人材育成における教育の充実、家庭教育、社会教育、学校教育の充実が必要であり、また、青少年健全育成の活動支援も重要な役割を果たすものと思われます。

教育環境の整備や子供たちの学力向上については、教育委員会の考え方を尊重して支援をしていくとあります。教育基本法や地方教育行政の組織及び運営に関する法律等の趣旨、理念を尊重していただき、重複しますが、教育委員会の考え方を尊重して、教育行政を推進、支援していただきたいと考えます。町長の見解をお伺いいたします。

○町長（宮崎 吉敏君） 米田議員の質問にお答えします。

基本的に教育委員会の考えということは、しっかりと尊重してまいりたいと思います。私ができること、町ができることと言い換えれば、しっかりと教育委員会に対して支援を重ねていくに尽きると思います。

以上です。

○議員（米田 正直議員） 町政運営方針では、宮崎町長が掲げた公約の一部ではありましたが、川南町民のために、輝き、魅力あふれるまちづくりの実現のためにリーダーシップを取っていただきたいというふうに思います。このことについて、再度、町長のほうから御意見があれば伺いたいと思います。

○町長（宮崎 吉敏君） 米田議員の質問にお答えします。

今までの各議員からの御質問もありました。私は、全てというのは、これは不可能に近いかもしれませんが、やはり町民皆様と一緒に川南町を築いていきたいと考えています。そのためには地域座談会、また、地域で活動なさっている方々のミニ集会等については、要望があれば積極的に参加していきたいと考えています。また、地域座談会については、昨日の質問にもありました、2か月ほど間隔を置いて開催をしていきたいと考えています。この座談会については、様々な制限等に関わることはしないと考えています。自由に町民の皆様がお話しただける、自由に意見が言える、そういった場を提供し、また、その中から出てきた案件に対して、行政として何ができるかということも

考えていきたいと思います。

以上です。

○議員(米田 正直議員) どうもありがとうございました。以上で質問を終わります。

(午後 2 時15分 終了)